

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第26号

2019年（令和元年）
6月9日
組織拡充委員会

地区年次総会開催

4月25日(木)、第10回あすなろ地区年次総会が西荻地域区民センター・勤労福祉会館で開催され、議事に先立ち功勞の表彰が行われました。表彰、受章された方は次の通りです。（敬称略）

【あすなろ地区表彰状】

中野5団：島田 雅彦 杉並3団：松窪 美香 杉並5団：関戸 亜弥 杉並11団：三田 明、梅原 靖士
杉並12団：佐藤 英介 杉並13団：田邊 健太、鈴木 大樹

【あすなろ地区有功記念章】

中野3団：足立 郁也 中野8団：小倉 栄一 中野11団：金田一 良 杉並3団：高地 実咲、左奈田 将実
杉並5団：鈴木 知之 杉並12団：宇川 佳子、豊川 志朗、北口 勝也 杉並13団：幾代 貴、中村 聡



地区年次総会議案の2018年度の事業報告と決算報告、2019年度の事業計画案と予算案は原案通り可決されました。また、2019年度の地区協議会長と地区委員長、地区役員・監事、名誉会議議員の選任の議案は、以下の通り承認可決されました。

地区協議会長	岡村 實	留任	杉6	組織拡充委員長	広瀬 治男	留任	杉12
地区委員長	佐藤 武信	留任	杉11	トレーニング委員長	沼上 幸一	新任	中8
地区協議会副会長	月出 毅	再任	中11	進歩委員長	金田一 良	留任	中11
〃	並木 明直	再任	杉3	野営行事委員長	島田 雅彦	留任	中5
〃	竹之内 實	留任	杉6	安全管理委員長	武藤 八朗	留任	中3
〃	高橋 宏人	留任	杉11	信仰奨励委員長	津村 道夫	留任	杉9
地区副委員長	並木 俊久	留任	杉4	国際委員長	本間 幹人	留任	杉3
〃	椎木 誠一	留任	杉13	会計	本間 幹人	留任	杉3
〃	広瀬 治男	新任	杉12	副会計	諏佐 道宏	新任	杉11
〃	中村 俊幸	再任	中8	〃	山中喜美子	留任	杉6
				事務長	並木 俊久	留任	杉4
名誉会議議員	塚田 英昭	留任	中5	副事務長	久保田 温	留任	中3
〃	手島 敦	新任	杉6	会計監事	久保田承良	留任	中3
				〃	小森 敏弘	留任	杉9

「守・破・離」

地区協議会長 岡村 實

4月25日開催のあすなろ地区年次総会で、昨年度に引き続き、地区協議会長に選出いただきました杉並第6団の岡村 實です。

新たな気持ちで職責を果たせるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5月より「令和元年」になり、世の中お祝いブームが続いていますが、我があすなろ地区も設立10年目を迎え、今年は節目の年とも言えます。

世の中の少子高齢化の流れの中で、我々ボーイスカウト運動もスカウト数の減少や指導者の高齢化に直面している状況は、あすなろ地区もまったく同様の課題を抱えていると言えます。

そこで我々はこの運動の原点を見つめ、基本に立ち帰ることが必要と考えます。これが「守」です。

ところが隊長ハンドブック通りの隊運営や教育規程通りの団運営が出来ない場合には、各団、各隊での工夫、改善等の応用が必要になります。これが「破」です。

基本と応用を繰り返しながら、それぞれの団・隊がボーイスカウトのあるべき姿を目指します。これが「離」です。

「離」への到達は難しいものと思いますが、ここに到る「守」と「破」の努力の繰り返しが、この運動を活性化するものと考えます。

この「守・破・離（しゅはり）」は、武道や茶道などの修行の段階を表す「心構え」としてよく使われますが、千利休の言葉である「規矩作法守り尽して破るとも離るとても本を忘るな」にあるように、常に本（基本）を大切にすることが大切です。

この「守・破・離」の心構えこそ、我々あすなろ地区のボーイスカウト運動の活性化の近道と私は信じています。



30年度の技能章

30年度中に、あすなろ地区の各団で取得された技能章は表の通りです。

	杉2	杉3	杉4	杉5	杉6	杉9	杉11	杉12	杉13	中3	中5	中8	中11	計
野 営 章						1	3	2			1	2		9
野 営 管 理 章							2	2			1	1		6
救 急 章		2				1	3	2			1	2		11
野 外 炊 事 章							3	2			1			6
パイオニアリング章		2				4	1							7
リーダーシップ章							1							1
ハイキング章				2		3	7							12
スカウトソング章				2		2	7							11
水 泳 章											1	3		4
エネルギー章						1								1
世界友情章		2						3					1	6
環境衛生章						1								1
事 務 章												1		1
森林愛護章		1				1	2	1						5
洗 濯 章							1							1
測 量 章							1	1						2
測 候 章		1						1						2
鳥類保護章		1					2							3
ス キ ー 章								4						4
登 山 章						1								1
計	0	9	0	4	0	15	33	18	0	0	5	9	1	94

東京連盟の年次総会で表彰

5月19日(日)、2019年度東京連盟年次総会が国立オリンピック記念青少年総合センターのセミナーホールで開催されました。

2018年度の事業報告・収支決算、2019年度の事業計画案・収支予算案、一般社団法人への移行等の議案については、いずれも原案通り可決されました。

東京連盟年次総会において、多年にわたる功績により表彰を受けたあすなる地区の関係者は次の通りです。

【県連盟有功章】

杉並3団：井口 和也
高地 由希恵
太田 浩美
太田 昇
並木 明直
本間 幹人

杉並5団：大原 恭之
平野 健治

杉並11団：諏佐 道宏



【県連盟感謝状】

昨年11月10日(土)～11日(日)に開催された東京連盟主催のローバー100キロハイイクで、第3チェックポイントとして、双百合幼稚園(南荻窪1-4-11)の施設の利用を支援いただいたスピノラ修道女会に、県連盟感謝状が授与されました。

【優良団表彰】

東京連盟の年次総会では、毎年優良団を総会資料で紹介しています。

優良団は平成30年度と平成31年度の継続登録時を比較して、スカウト数が5名以上増加した団と、平成31年度の継続登録時にスカウトを60名以上登録している団が対象となります。

あすなる地区では、中野8団はスカウト数が6名増加していることから優良団として、またスカウトを60名以上登録している団として、中野8団(62名、全登録数87名)、杉並11団(69名、全登録数106名)が優良団として総会資料に掲載されました。



県連盟有功章受章の杉並3団団委員長 並木明直さん(左)、杉並11団副団委員長 諏佐道宏さん(右)

日本連盟全国大会に参加

地区コミッショナー 下地 俊一

5月25日(土)より26日(日)まで、鹿児島市で開催された「2019 令和元年度 日本連盟全国大会」に参加してきましたので、報告いたします。

全国各地より741名、東京連盟からも61名の参加がありました。

初日の正午からは開会式、そして表彰式が行われました。表彰式ではたか章、かつこう章をはじめ、多くの章が贈られました。夫婦で登壇される方もおり、おごそかな中にも暖かみがある、よい式典でした。

その後は、県連盟代表者会議、全国県連盟コミッショナー会議、全国ローバースカウト会議が並行して開催されましたが、これらの会議は限定参加でしたので、私は「スカウティングエキスポ」を見学に行きました。

エキスポでは県連はじめ、多くのスカウト関連団体の展示があり、勉強になりました。特に京都ローバーの「ガーナ支援活動」には感動しました。ステージでは和太鼓や琉球踊りも繰り広げられ、会場を盛り上げていました。

初日の18時から交歓会が開催されました。鹿児島県連連盟長でもある三田園鹿児島県知事は、アナウンサー出身のため、さすがに弁舌さわやかに挨拶を述べましたが、特に出身地の「川内(せんだい)の大綱引き」をしきりにアピールしていました。

また、昨年の全国大会で40分間マイクを離さなかったという日本連盟の奥島理事長は、ほんの数秒で挨拶を終わられ、喝さいを浴びました。その後はステージでの歌や獅子舞も楽しみながら歓談に入り、海外からの参加者も交え、大いに盛り上がりました。

二日目の午前「全国スカウト教育会議」ということで、8つのテーマで分科会が開催されました。その中で私は「薩摩の郷中教育とボーイスカウト」に参加しました。

「郷中(ごちゅう、あるいは、ごうちゅう)教育」とは、江戸時代からの薩摩独特の教育方法で、藩校による中央教育ではなく、地域を主体とした青少年教育で、活動の年代分けや、年長が年下を教育するなど、ボーイスカウトの教育方法と似た面があり、「ベーデンパウエルは郷中教育を参考にボーイスカウトを作った」という伝説もあるほどです。この伝説を綿密に研究された方が発表されましたが、結論としては、「参考にしたという証明はない」でした。ただ「あくまで地元は事実と信じて心の支えにしている」と強調しており、思いも伝わって非常に参考になり、楽しかったです。

鹿児島出身の私も、実は小学生のころ、この郷中教育の流れをくんだ「舎」という組織に属しており、休日の朝は高校生の「お兄さん」から勉強を教わり、午後は剣道や卓球のスポーツを教わるなど、「文武両道」の指導を受け、夏休みにはハイキングやキャンプに参加して、非常に楽しかったのを覚えています。現在ボーイスカウト運動に参加しているのも、きっとそれが関係しているのでしょう。

全国大会は参加費(今年度は3,000円)さえ払えば、誰でも参加できます。日本連盟のホームページにも全国大会の様子は掲載されていますが、様々な県連や団の活動を知るよい機会です。来年度の全国大会は横浜で開催されますので、皆さま是非ご参加ください。



エキスポ出展団体一覧



ブースNo.	団体名称	展示名称
1		総合インフォメーション
2	第13回日本アグーナリー 実行委員会	第13回日本アグーナリー
3	日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ	ラジオスカウティング紹介
4	日本スカウト切手・メモリアリアクラブ メモリアリア部会	歴史的に価値のある記念品や各種記念品
5	日本スカウト切手・メモリアリアクラブ 切手部会	切手で見る世界スカウトジャンボリー
6	日本スカウト切手・メモリアリアクラブ 書籍・資料部会	御褒ボーイスカウト(三島 通陽)
7	日本スカウト切手・メモリアリアクラブ 甲冑部会	甲冑・装束体験
8	日本ボーイスカウト京都連盟	ガーナ派遣プロジェクトチーム2019
9	福岡ローバース	活動に革新を 福岡ローバース設立!!
10	日本ボーイスカウト熊本県連盟	熊本地産復興支援報告
11	スカウティング研究センター	スカウティング研究センター事業および発行冊子の紹介
12	スカウト教育研究プロジェクト(SERP)	スカウティングを科学する
13	愛知連盟 刈谷第11団	チコちゃんに叱られる!
14	愛知ローバース会議	教えて!あなたのローバリング
15	大阪連盟ユース会議	大阪連盟ユース会議 活動紹介
16	全国ローバースカウト会議	RCJの活動紹介
17	中途退団抑止特別委員会	スカウト家族招増計画~持続可能な組織づくり
18	社会連携・広報フォーラム	助成金獲得の極意教えます
19	団支援・組織拡充委員会	組・括なんでも相談コーナー ~広報・登録・データ~
20	社会連携・広報委員会	オリジナル広報グッズ 展示販売
21		スカウトショップ



入口付近の説明版、各県連ののぼり旗

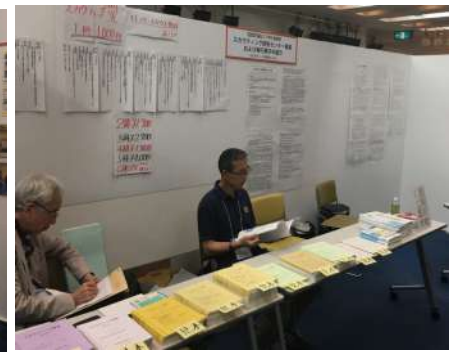
表彰の様子



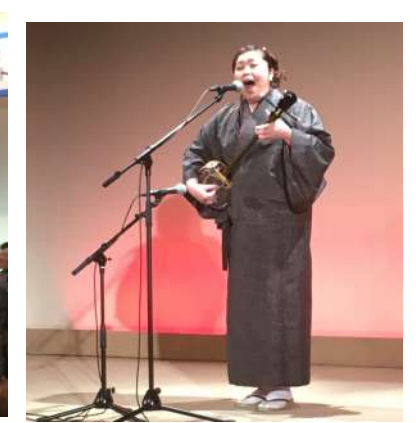
表彰の様子

京都ローバーのガーナ
支援プロジェクト

エキスポ会場



エキスポ会場



エキスポ会場

交歓会でのみこし、島唄

安全促進フォーラムに参加しました 杉並第3団 団委員・地区安全管理委員 成田文浩

6月2日(日)、日本連盟セーフ・フロム・ハーム安全委員会主催の「安全促進フォーラム」がボーイスカウト会館で開催されました。参加者は31名で、5つのグループに分かれて討議されました。

フォーラムのプログラムは以下のとおりでした。

- ① 「そなえよつねに共済」と対人・対物賠償責任保険、事故データ分析（講師：逢坂伸一氏）
ボーイスカウトの「そなえよつねに共済」について説明があり、その目的と仕組みについて理解を深めるとともに、蓄積された活動中の事故報告データを基に、事故事例や事故データの分析をすることで、フォーラム参加者が当事者意識をもって学ぶことになりました。
- ② 裁判事例に学ぶ安全対策（弁護士：樽谷徹氏）
裁判所で争われたボランティア活動（子供会）の野外活動中に起きた事故事例を題材にして、指導者に問われる注意義務とは何かについて解説があり、事故事例からスカウト活動における委縮することのない安全対策を考えました。
- ③ 有効な安全対策を考えるための原因分析（講師：逢坂伸一氏）
スカウト活動中に起きた事故事例から、安全確保のために何をすべきであったか、原因の分析が行われました。
- ④ 安全促進拡大フォーラムを開催するために（弁護士：樽谷徹氏）
本日のフォーラムで学んだことを各地区で展開（共有）するよう依頼がありました。

②と③の事例検討では、グループ毎に仮想の団となり、野外活動の安全Q&A及び事故事例集に基づき、「事故の原因」「どうしたら防げたか」「同様の事故を起こさないためにどう指導するか」について活発な意見交換と、各グループからの発表がありました。

参加者のみなさんはスカウト活動における安全対策の意識がとても高く、グループの討議や発表の中で、私自身も多くの問題点や課題、取り組むべき対策などに気づかされました。

総括として講師から2つの提言がありました。

- ① 安全対策に関しては、団と隊が一致団結して取り組むべきで、個人に安全責任を押し付けないこと。
このためには、まず、団や隊が安全に対する共通の認識を持ち、一丸となって教育・指導に取り組むこと。
- ② 安全を意識し過ぎ、事故を考えて恐れるあまり、委縮した活動にならないようにする。
十分な安全確保を行って活動することで、冒険的なプログラムが展開できる。事故をゼロにすることを目指す。

活動場所の下見等に基づき、リスクを極力排除した活動計画を作成することはもちろん、現地に入ってから安全面で問題ないかを十分にチェックするとともに、下見のときと状況が変わっている可能性があることから、事故を未然に防ぐため、フレキシブルに行動・対応することが重要と考えます。

最後に、各団、隊の安全対策の意識をさらに高め、事故を減らすために、安全促進フォーラムへの積極的な参加をお願いしたいと思います。

フォーラムのプログラムは、実際にボーイスカウトの活動中に生じた事故事例や事故データを豊富に引用して、事故発生時の対応や訴訟での対応など、分かりやすい内容になっているため、参加することで、とても勉強になります！



中央 筆者

菊スカウト章、富士スカウト章を受章

4月19日（金）阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、杉並12団の橘田 哲一さんに菊スカウト章が伝達され、杉並11団の吉岡 優奈さんに富士スカウト章の記念品として、吉岡さんの名前が刻まれたバックルが授与されました。

佐藤地区委員長からはお祝いの言葉として、「受章したことで後輩たちの指導にも努めてもらいたい」との激励の言葉がありました。

また3月10日に開催された「富士スウト顕彰の集い」で、小池百合子東京都知事から富士スカウト章を授与されたスカウトへのお祝いの言葉として、「富士スカウト章受章者は社会で役立つ技能・国際感覚を身につけ、自分で考え、行動する青年としての目標に向かって、研鑽を積み、様々なステップをクリアしてきて受章のよき日を迎えたので、富士スカウト章を授与されたことを忘れずに、社会に大きく羽ばたいていってください」の言葉が紹介されました。



隼スカウト章を受章

5月24日（金）なかのZEROで開催された地区委員会に先立ち、杉並11団の大森直幸さんと、杉並12団の森香樹さんに隼スカウト章が授与されました。

2人の隼スカウト章の受章を祝して、下地地区コミッショナーから、委員会の出席者とともに、弥栄三唱の祝声があり、受章スカウトからもお礼の弥栄三唱がありました。



ボーイスカウト講習会

5月19日(日)、中野区の南部すこやか福祉センターで東京連盟第298回ボーイスカウト講習会が開催されました。主任講師は日本連盟副アシスタントリーダートレーナーの倉品範久さんで、あすなろ地区各団の13名が参加し、2つの班に分かれて活動しました。

講習会では、スカウト運動の概要、スカウト教育の基本的な方法、スカウト運動と成人の役割などのセッションがありました。

室外での班ハイキングでは、事前訓練の班集会で地図の読み方、ロープ結び、歩測の練習をし、隊集会のあとは近所の公園まで3つのチェックポイントをまわるハイキングを行ない、ビーバー、カブ部門の集会も体験しました。参加者からは「スカウト運動の理解が深まった」、「実習体験があり、楽しめた」などの感想がありました。



セッション前にゲームでリラックス



プロジェクターを使ったセッション



班長会議のイメージを実演



班集会でロープワークの練習



自分の歩幅を計測



ハイキング前の隊集会



出発前のスカウツOWN



木と木の間を歩測



植込みの絵を記憶するキムゲーム



ひきとけ結びで投げ縄

世界ジャンボリー派遣第12隊訓練キャンプ

4月28日(日)から30日(火)、第24回世界ジャンボリーの第12隊訓練キャンプが八王子ひよどり山キャンプ場で開催されました。

第12隊はあすなる地区と山手地区のスカウトで構成され、4つの班はジャンボリー会場と同じ広さのキャンプサイトにテントを張り、炊事は米国のジャンボリー会場と同様にガスコンロを使用し、時間をかけずに手際よく調理しました。

夜のキャンプファイアの各班の出し物は、米国のジャンボリーで各国のスカウトにも理解できるように、英語でのスタンツが課題となり、日本語のセリフを英訳したり、英語での歌の練習にも励みました。

参加者には派遣に必要な個人備品を収納するお揃いの大きなバッグなども配布されました。



開営式



班サイトの設営



夜のミーティング



朝の各班点検



各班サイトでの会議、調理、食事



スタンツの練習



携行品の使い方の説明

中野駅前で国旗を掲揚

中野11団 副団委員長 金田一良

中野の各団は、祝日に中野駅前南口ロータリーにある国旗掲揚ポールに国旗掲揚の奉仕を行っています。

令和元年5月1日(水)の天皇の「即位の日」には、元号が令和になって初めての国旗掲揚で、中野の各団のスカウトと指導者が参加し、ボーイスカウトとリーダーにより、新元号を祝して、国旗掲揚ポールに国旗掲揚を行いました。

カブスカウトも国旗掲揚の見学に来ており、いつもの緊張感のある国旗掲揚は、いい経験ができたと思います。

国旗のポールは1964年に開催された東京オリンピックで使用されたあと、中野ライオンズクラブに払い下げられて中野駅前に設置され、中野ライオンズクラブから、当時中野区の各団が所属していた西部地区に、祝日の国旗掲揚の依頼があり、現在まで連綿と受け継がれて行われています。



中野区民ふれあい運動会で奉仕

5月19日(日)、障がいのある方と健常者も参加できる中野区民ふれあい運動会が中野区立第二中学校で開催されました。

中野区から運動会の支援の依頼があり、中野の各団からリーダー9名、BS10名、VS2名が奉仕しました。

参加スカウトは開会式でのプラカードを掲げた入場、競技名プラカードを持って参加者の呼び出し、ゴールのテープ持ち、等賞係、プレーの見本、送迎バス案内の係などを担当させていただきました。

目に障がいのある方の徒競走は伴走者が必要なため、参加リーダーが伴走役を務めさせていただきました。



杉並6団バザー

5月19日(日)、杉並6団の恒例のバザーが桃井第三小学校で開催されました。

ゲーム券を購入された方は、スカウト達が運営を担当する弓矢で風船をねらうゲーム、接着するボールを数字ボードに投げるゲーム、ヨーヨー釣りなどを楽しみ、たくさんの笑顔が見れました。

また、カレーライス、焼きそば、焼きいか、フライドポテト、玉こんにゃく、豚汁などのコーナーが設けられ、初夏の陽気のため、かき氷や飲み物のコーナーには長い列ができました。

体育館では雑貨や衣類などを並べたフリーマーケットが開かれ、買物を楽しむ方々が賑わいました。

「ゴミステーション」には、燃えるゴミ、燃えないゴミに区分けする手作りの箱が設けられ、ゴミがそれぞれの箱にきれいに整理されていました。

スカウト活動の写真などが展示された入隊案内のコーナーでは、お子様を連れてきた保護者の方がパンフレットなどでボーイスカウト活動の説明を受けました。



ゲーム券売り場



接着ボール投げ



弓矢で風船を狙うゲーム



ヨーヨー釣りのコーナー



古本のコーナー



お休み処で憩いのひととき



焼きそばの行列



かき氷にも行列



お代はお気持ちで…の豚汁



分別されたゴミステーション



体育館のフリーマーケット

